

平成 28 年 度

シラバス

5 年 次

歯科医学総合講義 5



自主創造
日本大学

日本大学松戸歯学部

平成 28 年度 歯科医学総合講義 5 シラバス

一般目標(General Instructional Objective):

臨床実習で遭遇する症例の問題解決と円滑な臨床実習を行うために、歯科医学の科学的根拠に基づいた基礎的および臨床的な知識を修得し、国家試験問題の解決方法を理解する。

1) 講義実施要項

1. 講義教室：401 教室
2. 講義時間：月曜日から土曜日までの午前 8 時 40 分～9 時 30 分
3. 以下の 6 ユニットに分割する。講義日程参照。

ユニットⅠ：基礎歯科医学領域

ユニットⅡ：診断・小児歯科・矯正歯科・障害者歯科領域

ユニットⅢ：歯科保存領域

ユニットⅣ：補綴・インプラント領域

ユニットⅤ：放射線・口腔外科（インプラント含む）・歯科麻酔・臨床検査

ユニットⅥ：口腔衛生領域

4. 講義は国家試験問題に基づいて基礎から臨床までの領域を理解することを目標とし、各ユニットを以下のように構成する。

- ① プレ試験：講義前の学力を評価する試験。歯科医師国家試験過去問題の改変問題とする。
- ② 講義：5 年次において国家試験に備え学修すべき内容を提示し、基礎学力を向上させる講義を行う。
- ③ 平常試験：講義後の評価を行う試験。講義内容に沿った歯科医師国家試験過去問題の改変問題とする。
- ④ 解説講義：平常試験の結果から理解度が不足している項目を抽出し解説を行う。

2) 歯科医学総合講義 5 のプレ試験，平常試験，学力評価試験，総合試験（定期試験）および再試験実施要項

1. プレ試験

各ユニット開始時に歯科医師国家試験問題の改変問題を出題する。出題範囲、問題数、試験時間は以下の通りとする。但し、問題の配点は一般問題、臨床実地問題ともに 1 点とする。

ユニット	国試出題範囲	実施日	試験時間	一般問題数	臨床実地問題数	合計
I	100～109 回	10/1	8：40～9：20	40		40
II	106～109 回	10/14	8：40～10：20	40	30	70
III	106～109 回	11/7	8：40～10：20	40	30	70
IV	106～109 回	11/30	8：40～10：20	40	30	70
V	106～109 回	1/10	8：40～10：20	40	30	70
VI	106～109 回	2/10	8：40～9：40	50	5	55

2. 平常試験

- ① ユニットⅡ～Ⅵ終了後に平常試験を実施する。
- ② MCQ 試験とし、一般問題と臨床実地問題を出題する。但し、問題の配点は一般問題、臨床実地問題ともに1点とする。試験時間等は以下の通りである。
- ③ 平常試験の追試験は実施しない。

試験区分	実施日	試験時間	問題数
平常試験 1 (ユニットⅡ)	11/4	8:40～9:50	一般問題 32 臨床実地 14
平常試験 2 (ユニットⅢ)	11/28	8:40～9:50	一般問題 30 臨床実地 15
平常試験 3 (ユニットⅣ)	12/28	8:40～10:10	一般問題 40 臨床実地 20
平常試験 4 (ユニットⅤ)	2/8	8:40～10:20	一般問題 44 臨床実地 22
平常試験 5 (ユニットⅥ)	2/24	8:40～9:40	一般問題 44 臨床実地 6

3. 学力評価試験

基礎および臨床科目の総合学力評価を目的として、歯科医師国家試験に準じた学力評価試験を実施する。

- ① 試験日 平成 29 年 1 月 6 日 (金)
- ② 試験時間 9:30～12:00、13:00～15:15
- ③ 試験問題数 必修 40 問、一般 107 問、臨床実地 53 問の合計 200 問

4. 総合試験 (定期試験)

- ① 試験日 平成 29 年 3 月 1 日 (水)
- ② 試験時間 10:00～11:30、13:00～14:30 (一般 195 問)
15:00～16:45 (臨床実地 42 問)
- ③ 試験問題数 歯科医学総合講義 5 (ユニットⅠ～Ⅵ) の講義内容を基に歯科基礎医学領域は一般問題 3 問/1 コマ、臨床系は一般問題 2 問/1 コマ、臨床実地 10 問/ユニット口腔衛生領域は一般問題 25 問、臨床実地 2 問 MCQ 形式の問題 237 問とする。各ユニットと問題数の配分は以下の通りである。但し、問題の配点は一般問題、臨床実地ともに1点とする。

ユニット	一般問題数	臨床実地問題数
Ⅰ	24	
Ⅱ	32	10
Ⅲ	30	10
Ⅳ	40	10
Ⅴ	44	10
Ⅵ	25	2

3) 歯科医学総合講義 5 の合格基準

各試験の評価割合をプレ試験全正答率の 10%、平常試験全正答率の 30%、学力評価試験正答率の 5%および総合試験正答率の 55%を合計し、その正答率が 65%以上の者を歯科医学総合講義 5 の合格者とする。

4) 追・再試験について

- ① 上記の合格基準に満たない者で総合試験を受験した者を再試験該当者とし、再試験受験手続をした者に行う。
- ② 総合試験を病気など正当な理由で欠席し、追試験の手続きをした者に行う。
- ③ 試験問題数は、歯科医学総合講義 5 の講義内容を基に一般問題 102 問、臨床実地問題 21 問の総問題数 123 問とする。各ユニットと問題数の配分は以下の通りである。但し、問題の配点は一般問題、臨床実地問題ともに 1 点とする。

ユニット	一般問題数	臨床実地問題数
I	16	
II	16	
III	15	5
IV	20	5
V	22	5
VI	13	1

- ④ 試験日 平成 29 年 3 月 16 日 (木)
- ⑤ 試験時間 10:00~11:40、13:00~14:10
- ⑥ 合格判定基準 各試験の評価割合をプレ試験全正答率の 10%、平常試験全正答率の 30%、学力評価試験正答率の 5%および追再総合試験正答率の 55%を合計し、その正答率が 65%以上の者を歯科医学総合講義 5 の合格者とする。
- ⑦ **追・再試験は、総合試験合格者も実力試験として受験する。**

平成28年度 歯科医学総合講義5 日程表

出席確認 8:35～8:40, 講義時間 8:40～9:30, 会場 401教室

月 日	曜	ユニット	テーマ	オーガナイザー	担当講座	講義担当者	備考
10月1日	土	プレ試験Ⅰ	基礎歯科医学領域	加藤 治			
10月2日	日						
10月3日	月	ユニットⅠ-1	プレ試験問題解説講義1	加藤 治	解剖学Ⅰ	松野 昌展	日本大学創立記念日
10月4日	火						
10月5日	水	ユニットⅠ-2	プレ試験問題解説講義2		病理学	宇都宮 忠彦	
10月6日	木	ユニットⅠ-3	プレ試験問題解説講義3	加藤 治	生理学	吉垣 純子	学外研修
10月7日	金	ユニットⅠ-4	プレ試験問題解説講義4		微生物免疫学	栗原 紀子	
10月8日	土	ユニットⅠ-5	プレ試験問題解説講義5		薬理学	松本 裕子	
10月9日	日						
10月10日	月						体育の日
10月11日	火	ユニットⅠ-6	プレ試験問題解説講義6		解剖学Ⅱ	玉村 亮	
10月12日	水	ユニットⅠ-7	プレ試験問題解説講義7	加藤 治	生化学・分子生物学	平塚 浩一	
10月13日	木	ユニットⅠ-8	プレ試験問題解説講義8		歯科生体材料科学	西山 典宏	学外研修
10月14日	金	プレ試験Ⅱ	診断・小児歯科・矯正歯科・障害者歯科領域				
10月15日	土	ユニットⅡ-1	POSとPOMR	岡本 京	歯科総合診療学	岡本 康裕	
10月16日	日						
10月17日	月	ユニットⅡ-2	医療面接		歯科総合診療学	多田 充裕	
10月18日	火	ユニットⅡ-3	小児の外傷歯への対応		小児歯科学	岡本 京	
10月19日	水	ユニットⅡ-4	小児期の歯冠修復と歯内療法	岡本 京	小児歯科学	伊藤 龍朗	
10月20日	木	ユニットⅡ-5	小児の外科的処置		小児歯科学	清水 邦彦	学外研修
10月21日	金	ユニットⅡ-6	小児の歯科診療、齲蝕と進行抑制		小児歯科学	伊藤 龍朗	
10月22日	土	ユニットⅡ-7	歯の発育と異常		小児歯科学	根本 晴子	
10月23日	日						
10月24日	月	ユニットⅡ-8	障害者の歯科治療		障害者歯科学	三田村 佐智代	
10月25日	火	ユニットⅡ-9	摂食嚥下リハビリテーション		障害者歯科学	猪俣 英理	
10月26日	水	ユニットⅡ-10	高齢者の歯科治療	岡本 京	障害者歯科学	伊藤 梓	
10月27日	木	ユニットⅡ-11	訪問歯科診療		障害者歯科学	梅澤 幸司	学外研修
10月28日	金	ユニットⅡ-12	不正咬合の原因		矯正歯科学	齋藤 勝彦	
10月29日	土	ユニットⅡ-13	矯正装置		矯正歯科学	齋藤 勝彦	
10月30日	日						
10月31日	月	ユニットⅡ-14	治療計画の立案1		矯正歯科学	五関 たけみ	
11月1日	火	ユニットⅡ-15	治療計画の立案2	岡本 京	矯正歯科学	五関 たけみ	
11月2日	水	ユニットⅡ-16	治療計画の立案3		矯正歯科学	五関 たけみ	
11月3日	木						文化の日
11月4日	金	平常試験Ⅰ					
11月5日	土	平常試験Ⅰ解説講義		岡本 京			
11月6日	日						

月 日	曜	ユニット	テーマ	オーガナイザー	担当講座	講義担当者	備考
11月7日	月	プレ試験Ⅲ	保存修復・歯内療法・歯周病領域	岩井 啓寿			
11月8日	火	ユニットⅢ-1	硬組織欠損の検査法と治療方針		保存修復学	寺中 文子	
11月9日	水	ユニットⅢ-2	齶蝕除去の臨床術式・器具および歯髄保護法		保存修復学	岡田 珠美	
11月10日	木	ユニットⅢ-3	コンボジットレジン/修復の術式・器具・器材		保存修復学	神谷 直孝	学外研修
11月11日	金	出席のみ		岩井 啓寿			6年一次卒業判定試験
11月12日	土	ユニットⅢ-4	間接修復(セラミック・コンボジットレジンインレー)の特徴・術式		保存修復学	岩井 啓寿	
11月13日	日						
11月14日	月	ユニットⅢ5	接着操作・術後管理・補修修復		保存修復学	岩井 啓寿	
11月15日	火	ユニットⅢ6	歯髄・根尖周囲組織疾患の検査と診断	岩井 啓寿	歯内療法学	松島 潔	
11月16日	水	ユニットⅢ7	歯髄・根尖周囲組織疾患の治療①		歯内療法学	神尾 直人	
11月17日	木	ユニットⅢ8	歯髄・根尖周囲組織疾患の治療②		歯内療法学	神尾 直人	学外研修
11月18日	金	ユニットⅢ9	根未完成・外傷歯の歯内療法		歯内療法学	川島 正	
11月19日	土	ユニットⅢ10	歯内療法の発展 (NiTi・マイクロスコープ・MTA)	岩井 啓寿	歯内療法学	岡部 達	
11月20日	日						
11月21日	月	ユニットⅢ-11	歯周病と全身疾患		歯周治療学	中山 洋平	
11月22日	火	ユニットⅢ-12	歯周病の診査・診断		歯周治療学	吉野 祥一	
11月23日	水			岩井 啓寿			勤労感謝の日
11月24日	木	ユニットⅢ-13	歯周基本治療・咬合治療		歯周治療学	目澤 優	学外研修
11月25日	金	ユニットⅢ-14	歯周外科治療・メインテナンス・SPT		歯周治療学	高井 英樹	
11月26日	土	ユニットⅢ-15	最新の歯周治療		歯周治療学	小方 頼昌	
11月27日	日			岩井 啓寿			
11月28日	月	平常試験2					
11月29日	火	平常試験2解説講義					
11月30日	水	プレ試験Ⅳ	有床義歯・クラウンブリッジ・インプラント領域				
12月1日	木	ユニットⅣ-1	顎口腔機能に関わる国家試験問題解説1	小林 平	顎口腔機能治療学	浅野 隆	学外研修
12月2日	金	ユニットⅣ-2	顎口腔機能に関わる国家試験問題解説2		顎口腔機能治療学	浅野 隆	
12月3日	土	ユニットⅣ-3	全部床義歯の国家試験問題解説1		有床義歯補綴学	木本 統 (矢崎 貴啓)	
12月4日	日						
12月5日	月	ユニットⅣ-4	全部床義歯の国家試験問題解説2	小林 平	有床義歯補綴学	中田 浩史	
12月6日	火	ユニットⅣ-5	全部床義歯の国家試験問題解説3		有床義歯補綴学	木本 統	
12月7日	水	ユニットⅣ-6	全部床義歯の国家試験問題解説4		有床義歯補綴学	木本 統 (矢崎 貴啓)	
12月8日	木	ユニットⅣ-7	全部床義歯の国家試験問題解説5		有床義歯補綴学	木本 統	学外研修
12月9日	金	ユニットⅣ-8	局部床義歯の国家試験問題解説1	小林 平	有床義歯補綴学	飯島 守雄 (神谷 和伸)	
12月10日	土	ユニットⅣ-9	局部床義歯の国家試験問題解説2		有床義歯補綴学	飯島 守雄	
12月11日	日						
12月12日	月	ユニットⅣ-10	局部床義歯の国家試験問題解説3		有床義歯補綴学	伊藤 誠康	6年第二次判定試験
12月13日	火	出席のみ		小林 平			6年第二次判定試験
12月14日	水	出席のみ					
12月15日	木	ユニットⅣ-11	局部床義歯の国家試験問題解説4		有床義歯補綴学	大久保 昌和	学外研修

月 日	曜	ユニット	テーマ	オーガナイザー	担当講座	講義担当者	備考
12月16日	金	ユニットIV-12	局部床義歯の国家試験問題解説5	小林 平	有床義歯補綴学	飯島 守雄 (石井 智浩)	
12月17日	土	ユニットIV-13	クラウンブリッジの要件、支台装置、ポテンティック、連結部		クラウンブリッジ補綴学	田中 孝明	
12月18日	日						
12月19日	月	ユニットIV-14	ブリッジの種類、審査診断、治療計画、前処置	小林 平	クラウンブリッジ補綴学	小林 平	
12月20日	火	ユニットIV-15	支台視形成、テンポラリークラウン・ブリッジ、印象		クラウンブリッジ補綴学	田中 孝明	
12月21日	水	ユニットIV-16	作業用模型、咬合採得、咬合器付着、蝕型形成、埋没		クラウンブリッジ補綴学	小林 平	
12月22日	木	ユニットIV-17	鑄造、ろう付け、研磨、試適、術後管理、インプラント		クラウンブリッジ補綴学	小林 平	学外研修
12月23日	金						天皇誕生日
12月24日	土	ユニットIV-18	インプラント治療の検査とリスクファクター	小林 平	口腔インプラント学	村上 洋	
12月25日	日						
12月26日	月	ユニットIV-19	インプラントの上部構造・補綴治療	小林 平	口腔インプラント学	北川 剛至	
12月27日	火	ユニットIV-20	インプラント治療の診断と治療計画		口腔インプラント学	村上 洋	
12月28日	水	平常試験3					病院業務終了
12月29日	木						
12月30日	金						
12月31日	土						
1月1日	日						
1月2日	月						
1月3日	火						
1月4日	水						
1月5日	木						
1月6日	金	学力評価試験		小見山 道			
1月7日	土	平常試験解3解説講義		小林 平			
1月8日	日						
1月9日	月						成人の日
1月10日	火	プレ試験V	放射線・口腔外科・麻酔・臨床検査領域	濱野 美緒			
1月11日	水	ユニットV-1	歯・歯槽骨・顎骨・顔面骨の損傷の画像診断		放射線学	伊東 浩太郎	
1月12日	木	ユニットV-2	歯槽骨・顎骨の炎症の画像診断		放射線学	伊東 浩太郎	学外研修
1月13日	金	ユニットV-3	軟組織に発生する嚢胞性疾患・腫瘍および腫瘍類似疾患の画像診断		放射線学	伊東 浩太郎	
1月14日	土	ユニットV-4	顎骨に発生する嚢胞・腫瘍および腫瘍類似疾患の画像診断		放射線学	伊東 浩太郎	
1月15日	日						
1月16日	月	ユニットV-5	感染症	濱野 美緒	歯科臨床検査医学	淵上 真奈	
1月17日	火	ユニットV-6	出血性素因		歯科臨床検査医学	小峯 千明	
1月18日	水	ユニットV-7	貧血		歯科臨床検査医学	深津 晶	
1月19日	木	ユニットV-8	抜歯について		口腔外科学	濱野 美緒	学外研修
1月20日	金	休講(出席のみ)					
1月21日	土	ユニットV-9	全身疾患を有する患者に対する外科処置について	濱野 美緒	顎顔面外科学	河島 睦	AO入試
1月22日	日						
1月23日	月	ユニットV-10	粘膜疾患について	濱野 美緒	顎顔面外科学	青木 皓宣	
1月24日	火	ユニットV-11	炎症性疾患について		口腔外科学	西村 均	

月 日	曜	ユニット	テーマ	オーガナイザー	担当講座	講義担当者	備考
1月25日	水	ユニットV-12	ウイルス疾患について	濱野 美緒	口腔外科学	山本 泰	学外研修
1月26日	木	ユニットV-13	ビスホスホネートと顎骨骨髓炎		口腔外科学	濱野 美緒	
1月27日	金	ユニットV-14	上顎骨骨折について		顎顔面外科学	青木 晁宣	
1月28日	土	ユニットV-15	下顎骨骨折について		顎顔面外科学	青木 晁宣	
1月29日	日						
1月30日	月	ユニットV-16	口腔インプラント埋入手術について	濱野 美緒	口腔インプラント学	玉木 大之	学外研修
1月31日	火	ユニットV-17	バイタルサインについて		歯科麻酔学	石橋 肇	
2月1日	水	ユニットV-18	高血圧・虚血性心疾患について		歯科麻酔学	卯田 昭夫	
2月2日	木	ユニットV-19	気管支喘息・ステロイドについて		歯科麻酔学	鈴木 正敏	
2月3日	金	ユニットV-20	救急蘇生・2次救命処置について	有川 量崇	歯科麻酔学	石橋 肇	一般入試A方式(第1期)
2月4日	土	休講(出席のみ)					
2月5日	日						
2月6日	月	ユニットV-21	糖尿病について		歯科麻酔学	鈴木 正敏	
2月7日	火	ユニットV-22	心臓弁膜疾患について	有川 量崇	歯科麻酔学	卯田 昭夫	学外研修
2月8日	水	平常試験4					
2月9日	木	平常試験4解説講義					
2月10日	金	ブレ試験VI	口腔衛生領域				
2月11日	土						建国記念日
2月12日	日						
2月13日	月	ユニットVI-1	社会保障制度	有川 量崇	公衆予防歯科学	有川 量崇	学外研修
2月14日	火	ユニットVI-2	医療保険制度・国民医療費		公衆予防歯科学	有川 量崇	
2月15日	水	ユニットVI-3	齲蝕の予防・管理		公衆予防歯科学	那須 郁夫(田口 千恵子)	
2月16日	木	ユニットVI-4	フッ化物応用		公衆予防歯科学	那須 郁夫(田口 千恵子)	
2月17日	金	ユニットVI-5	歯周疾患の予防と健康管理・増進		公衆予防歯科学	那須 郁夫(田口 千恵子)	
2月18日	土	ユニットVI-6	高齢者施策・介護保険制度		公衆予防歯科学	有川 量崇	
2月19日	日						
2月20日	月	ユニットVI-7	地域歯科保健	有川 量崇	公衆予防歯科学	後藤田 宏也	学外研修
2月21日	火	ユニットVI-8	歯科疾患の統計指標		公衆予防歯科学	後藤田 宏也	
2月22日	水	ユニットVI-9	歯科医師法・医療法・医療職種役割		公衆予防歯科学	有川 量崇	
2月23日	木	休講(出席のみ)		有川 量崇			臨床実習なし
2月24日	金	平常試験5					
2月25日	土	平常試験5解説講義					
2月26日	日						
2月27日	月	休講(出席のみ)					臨床実習なし
2月28日	火	休講(出席のみ)					
3月1日	水	総合試験					学外研修
3月2日	木	OSCAT説明1					
3月3日	金	OSCAT説明2					一般入試A方式(第2期)
3月4日	土	休講(出席のみ)					
3月5日	日						

月 日	曜	ユニット	テーマ	オーガナイザー	担当講座	講義担当者	備考
3月6日	月	休講(出席のみ)					再試験該当者発表
3月7日	火	休講(出席のみ)					
3月8日	水	休講(出席のみ)					
3月9日	木	休講(出席のみ)					
3月10日	金	休講(出席のみ)					
3月11日	土	休講(出席のみ)					OSCAT予定
3月12日	日						
3月13日	月	休講(出席のみ)					
3月14日	火	休講(出席のみ)					
3月15日	水	休講(出席のみ)					
3月16日	木	再試験(実力試験)					
3月17日	金	基礎系補習講義1		宇都宮 忠彦	生化学・分子生物学	平塚 浩一	
3月18日	土	基礎系補習講義2			薬理学	松本 裕子	
3月19日	日						
3月20日	月						春分の日
3月21日	火	基礎系補習講義3			解剖学Ⅰ	松野 昌展	
3月22日	水	基礎系補習講義4			公衆予防歯科学	有川 量崇	
3月23日	木	基礎系補習講義5		宇都宮 忠彦	微生物免疫学	落合 智子	
3月24日	金	基礎系補習講義6			生理学	加藤 治	
3月25日	土	基礎系補習講義7			口腔病理学	宇都宮 忠彦	
3月26日	日						
3月27日	月	基礎系補習講義8			解剖学Ⅱ	玉村 亮	
3月28日	火	基礎系補習講義9		宇都宮 忠彦	公衆予防歯科学	後藤田 宏也	
3月29日	水	基礎系補習講義10			歯科生体材料学	谷本 安浩	
3月30日	木	休講(出席のみ)					
3月31日	金	6年次課題別講義ガイダンス		小見山 道			

講義日	時限	国試出題基準
10月03日	1時限	総論-IV-1-ア 総論-IV-1-イ 総論-IV-1-エ 総論-IV-1-オ

担当者 松野 昌展

テーマ： プレ試験問題解説講義 1

授業の一般目標： 臨床実習で遭遇する症例の問題解決と円滑な臨床実習を行うために、歯科医学の科学的根拠に基づいた解剖学的知識を修得し、国家試験問題の解決方法を理解する。

到達目標 S B O s :

1) 頭頸部の構造を形態学的に説明できる。

=====

講義日	時限	国試出題基準
10月05日	1時限	総論-VI-1-イ 総論-VI-1-ア

担当者 宇都宮 忠彦

テーマ： 病理学

授業の一般目標： 病因・病態を理解するために、病因論と病変とのかかわりについて学習する。

到達目標 S B O s :

- 1) 病因を列举することができる。
- 2) 6大病変の特徴と代表的疾患について説明できる。
- 3) 主要な口腔疾患の病理学的特徴について解説できる。

講義日	時限	国試出題基準
10月06日	1時限	必修-6-ア-e 必修-6-イ-b

担当者 吉垣 純子

テーマ： プレ試験問題解説講義3

授業の一般目標： 臨床実習で遭遇する症例の問題解決と円滑な臨床実習を行うために、歯科医としての科学的根拠に基づいた生理学的知識を修得し、国家試験問題の解決方法を理解する。

到達目標SBOs：

- 1) 神経系の分類と役割を説明できる。
- 2) ホルモンの役割と分類を説明できる。
- 3) 呼吸・循環の調節機構を説明できる。
- 4) 感覚の種類と伝導路を説明できる。
- 5) 口腔の反射の種類と反射弓を説明できる。

=====

講義日	時限	国試出題基準
10月07日	1時限	総論-VI-6-イ 総論-II-1 1-イ 総論-III-3-ア

担当者 栗原 紀子

テーマ： プレ試験問題解説講義4

授業の一般目標： 臨床実習で遭遇する症例の問題解決と円滑な臨床実習を行うために、歯科医学の化学的根拠に基づいた細菌学的知識を修得し、国家試験問題の解決方法を理解する。

到達目標SBOs：

- 1) 細菌・ウイルス・真菌感染症と病原微生物を説明できる。
- 2) 滅菌と消毒の種類と適応を説明できる。
- 3) プラークについて説明できる。
- 4) 口腔に症状を呈する疾患と関連する微生物について説明できる。
- 5) 免疫反応に関与する細胞について説明できる。

講義日	時限	国試出題基準
10月08日	1時限	必修-1 5-ヒ-e 必修-1 5-ヒ-c

担当者 松本 裕子

テーマ： プレ試験問題解説講義5

授業の一般目標： 臨床実習で遭遇する症例の問題解決と円滑な臨床実習を行うために、歯科医学の科学的根拠に基づいた薬理学的知識を修得し、国家試験問題の解決方法を理解する。

到達目標SBOs：

- 1) 薬物の作用機序について説明できる。
- 2) 薬物の体内動態について説明できる。

=====

講義日	時限	国試出題基準
10月11日	1時限	必修-6-ウ-c 必修-6-ウ-d 必修-7-イ-a

担当者 玉村 亮

テーマ： プレ試験問題解説講義6

授業の一般目標： 臨床実習で遭遇する症例の問題解決と円滑な臨床実習を行うために、歯科医学の科学的根拠に基づいた組織学的知識を修得し、国家試験問題の解決方法を理解する。

到達目標SBOs：

- 1) エナメル質、象牙質・歯髄複合体およびセメント質の組織学的構造を説明できる。
- 2) 歯周組織の組織学的構造を説明できる。
- 3) 歯の発生、歯胚の構造を説明できる。
- 4) 口腔粘膜の組織学的構造を説明できる。

講義日	時限	国試出題基準
10月12日	1時限	総論-Ⅲ-1-ア 総論-Ⅲ-1-イ 総論-Ⅲ-1-ウ 総論-Ⅲ-1-エ 総論-Ⅲ-1-カ 総論-Ⅳ-4-ウ 総論-Ⅳ-4-エ 総論-Ⅳ-5-ア

担当者 平塚 浩一

テーマ： プレ試験問題解説講義7

授業の一般目標： 臨床実習で遭遇する症例の問題解決と円滑な臨床実習を行うために、歯科医学の科学的根拠に基づいた生化学的知識を修得し、国家試験問題の解決方法を理解する。

到達目標SBOs：

- 1) 人体を構成する成分について説明できる。
- 2) 遺伝子からタンパク質合成までを説明できる。
- 3) 細胞外基質や骨代謝を説明できる。
- 4) 歯の硬組織や唾液の組成とその機能を説明できる。
- 5) 炎症、う蝕や歯周病の成り立ちを説明できる。

=====

講義日	時限	国試出題基準
10月13日	1時限	総論-XI-1-ウ

担当者 西山 典宏

テーマ： プレ試験問題講義8

授業の一般目標： 臨床実習で遭遇する症例の問題解決と円滑な臨床実習を行うために、歯科医学の科学的根拠に基づいた理工学的知識を習得し、国家試験問題の解決方法を理解する。

到達目標SBOs：

- 1) 1) 金属材料の構造と物性との関係を説明できる。
- 2) 2) 有機材料の構造と物性との関係を説明できる。
- 3) 3) 無機材料の構造と物性との関係を説明できる。

講義日	時限	国試出題基準
10月15日	1時限	必修-5-ア-c

担当者 岡本 康裕

テーマ： POSとPOMR

授業の一般目標： 十分な情報収集・情報の整理を行い，患者中心の医療を実践するために，問題指向型診療録について理解する。

到達目標SBOs：

- 1) 問題解決過程について説明できる。
- 2) POSについて説明できる。
- 3) SOAPについて説明できる。
- 4) POMRの記載項目を挙げて各々について説明できる。

=====

講義日	時限	国試出題基準
10月17日	1時限	必修-8-ア-a 必修-8-ア-b 必修-8-ア-c

担当者 多田 充裕

テーマ： 医療面接

授業の一般目標： 適切な診療を行うために医療面接に関する基本的事項を理解する。

到達目標SBOs：

- 1) 医療面接の意義・目的について説明できる。
- 2) 医療面接における効果的なスキルについて説明できる。
- 3) 各種質問法について説明できる。

講義日	時限	国試出題基準
10月18日	1時限	各論-Ⅱ-5-イ 各論-Ⅱ-5-ウ 各論-Ⅱ-5-ア

担当者 岡本 京

テーマ： 小児の外傷歯への対応

授業の一般目標： 歯の外傷を主訴として来院する小児患者に対処することができるようになるために、小児の歯の外傷の特徴および対応方法を理解する。

到達目標SBOs：

- 1) 小児の歯の外傷の特徴を説明できる。
- 2) 小児の歯の外傷の原因を説明できる。
- 3) 外傷歯への影響を説明できる。
- 4) 乳歯外傷による後継永久歯への影響を説明できる。
- 5) 乳歯および幼若永久歯の歯冠破折の診査と診断および処置法と予後を説明できる。
- 6) 乳歯および幼若永久歯の歯根破折の診査と診断および処置法と予後を説明できる。
- 7) 乳歯および幼若永久歯の脱臼の診査と診断および処置法と予後を説明できる。

=====

講義日	時限	国試出題基準
10月19日	1時限	各論-Ⅲ-3-ア 各論-Ⅲ-6-キ

担当者 伊藤 龍朗

テーマ： 小児の歯冠修復と歯内療法

授業の一般目標： 小児歯科患者の保存処置ができるようになるために、小児の歯冠修復および歯内療法について理解する。

到達目標SBOs：

- 1) 小児の歯冠修復に用いる器材について説明できる。
- 2) 小児の歯冠修復の術式を説明できる。
- 3) 小児の歯冠修復の適応症を説明できる。
- 4) 小児の歯内療法に用いる器材について説明できる。
- 5) 小児の歯内療法の術式を説明できる。

講義日	時限	国試出題基準				
10月20日	1時限	各論-Ⅱ-4-ア 各論-Ⅱ-4-サ	各論-Ⅱ-4-ウ 各論-Ⅱ-4-サ	各論-Ⅱ-4-キ 各論-Ⅱ-4-シ	各論-Ⅱ-4-ク	各論-Ⅱ-4-ケ

担当者 清水 邦彦

テーマ： 小児の外科的処置

授業の一般目標： 小児の口腔疾患に外科的対応をするために、小児期に行われる主な外科処置を理解する。

到達目標SBOs：

- 1) 炎症に対する対応を説明できる。
- 2) 小帯異常とその対応を説明できる。
- 3) 口唇に現れる病変とその対応を説明できる。
- 4) 歯肉に現れる病変とその対応を説明できる。
- 5) 舌に現れる病変とその対応を説明できる。
- 6) 顎骨内に現れる病変とその対応を説明できる。
- 7) 小児期の局所麻酔について説明できる。
- 8) 乳歯の抜歯について説明できる。

=====

講義日	時限	国試出題基準		
10月21日	1時限	各論-Ⅲ-1-ア	各論-Ⅲ-1-イ	各論-I-1-オ

担当者 伊藤 龍朗

テーマ： 小児の歯科診療、齲蝕と進行抑制

授業の一般目標： 小児の歯科治療および齲蝕予防法ができるようになるために、小児への対応、小児の齲蝕と進行抑制について理解する。

到達目標SBOs：

- 1) 小児への対応法を説明できる。
- 2) 小児の齲蝕の特徴を説明できる。
- 3) フッ化物の使用について説明できる。
- 4) シーラントについて説明できる。
- 5) 口腔衛生指導について説明できる。

講義日	時限	国試出題基準
10月22日	1時限	各論-Ⅱ-3-ア 各論-Ⅱ-3-イ 各論-Ⅱ-3-ウ 各論-Ⅱ-3-エ 各論-Ⅱ-3-サ 各論-Ⅱ-3-シ

担当者 根本 晴子

テーマ： 歯の発育と異常

授業の一般目標： 小児の歯科疾患の診断および治療ができるようになるために、歯の発育と異常について理解する。

到達目標SBOs：

- 1) 年齢と歯の発育について説明できる。
- 2) 歯の形成障害について説明できる。
- 3) 萌出の異常について説明できる。
- 4) 歯数の異常について説明できる。
- 5) 形態の異常について説明できる。
- 6) 構造の異常について説明できる。
- 7) 色調の異常について説明できる。
- 8) その他の異常について説明できる。

=====

講義日	時限	国試出題基準
10月24日	1時限	総論-VIII-3-ア 総論-VIII-3-イ 総論-VIII-3-ウ

担当者 三田村 佐智代

テーマ： 障害者の歯科治療

授業の一般目標： 障害者歯科保健に関わる基本理念，障害に関する医学的知識と歯科医療の配慮および障害者地域歯科医療における課題解決に必要な基本知識と概念を理解する。

到達目標SBOs：

- 1) 障害者の主な口腔症状について説明できる。
- 2) 障害者の主な歯科治療について説明できる。
- 3) 先天異常ならびに症候群について説明できる。

講義日	時限	国試出題基準
10月25日	1時限	必修-15-へ-a 各論-VI-15-イ 各論-VI-15-ウ 各論-VI-15-エ 各論-VI-16-イ-a

担当者 野本 たかと、猪俣 英理

テーマ： 摂食嚥下リハビリテーション

授業の一般目標： 摂食嚥下障害者に対し指導ができるようになるために、摂食嚥下リハビリテーションを理解する。

到達目標SBOs：

- 1) 嚥下のメカニズムを述べられる。
- 2) 摂食嚥下障害について述べられる。
- 3) 疾患と嚥下障害との関連を述べられる。
- 4) 誤嚥性肺炎を説明できる。

=====

講義日	時限	国試出題基準
10月26日	1時限	必修-7-ウ-a 各論-VI-13-キ 各論-VI-13-カ 総論-V-1-ク

担当者 野本 たかと、伊藤 梓

テーマ： 高齢者の歯科治療

授業の一般目標： 高齢者の歯科治療における基本理念および医学的基礎知識と歯科診療上の配慮について理解する

到達目標SBOs：

- 1) 高齢者の口腔の特徴について説明できる。
- 2) 高齢者の身体的特徴について説明できる。
- 3) 高齢者における歯科治療上の注意事項を説明できる。

講義日	時限	国試出題基準
10月27日	1時限	必修-15-カ-a 必修-15-カ-b 必修-15-カ-c 必修-15-カ-d 必修-16-ア-a 必修-16-ア-b 必修-16-ア-c 必修-16-イ-a

担当者 梅澤 幸司

テーマ： 訪問歯科診療

授業の一般目標： 居宅や老人福祉施設におけるスペシャルニーズのある人に対する歯科治療やそれらを取り巻く環境について理解する。

到達目標SBOs：

- 1) 訪問歯科診療について説明できる。
- 2) 訪問歯科診療の対象について説明できる。
- 3) 居宅について説明できる。
- 4) 老人福祉施設について説明できる。
- 5) 社会保障制度について説明できる。
- 6) 地域医療連携について説明できる。

=====

講義日	時限	国試出題基準
10月28日	1時限	各論-Ⅱ-7-エ

担当者 齋藤 勝彦

テーマ： 不正咬合の原因および病態

授業の一般目標： 適切な矯正治療を実践するために必要な、不正咬合の病態および原因について理解する。

到達目標SBOs：

- 1) 1) 不正咬合の先天的原因について説明できる。
- 2) 2) 不正咬合の後天的原因について説明できる。
- 3) 3) 各種不正咬合の特徴を説明できる。

講義日	時限	国試出題基準
10月29日	1時限	各論-Ⅱ-10-シ

担当者 齋藤 勝彦

テーマ： 矯正装置

授業の一般目標： 矯正治療における治療方針、矯正装置および器材について理解する

到達目標SBOs：

- 1)1) ナンスのホールディングアーチについて説明できる。
- 2)2) 舌側弧線装置について説明できる。
- 3)3) 拡大装置について説明できる。
- 4)4) 機能性矯正装置について説明できる。

=====

講義日	時限	国試出題基準
10月31日	1時限	各論-Ⅱ-8-ウ

担当者 五関 たけみ

テーマ： 永久歯列の矯正治療

授業の一般目標： 永久歯列の矯正治療における治療方針、矯正装置および器材について理解する。

到達目標SBOs：

- 1) 抜歯、非抜歯の診断について説明できる。
- 2) 抜歯部位について説明できる。
- 3) マルチブラケット装置の治療について説明できる。
- 4) 固定および固定装置について説明できる。

講義日	時限	国試出題基準
11月01日	1時限	各論-Ⅱ-1 Ⅰ-エ 各論-Ⅱ-8-ウ 各論-Ⅱ-8-エ

担当者 五関 たけみ

テーマ： 顎変形症に対する矯正治療(1)

授業の一般目標： 顎変形症患者の矯正治療を適切に行うために必要な診断、治療方針及び治療計画の立案について理解する。

到達目標SBOs：

- 1) デンタルコンペンセーションを説明できる。
- 2) 外科的矯正治療の流れを説明できる。
- 3) 術前矯正治療について説明できる。

=====

講義日	時限	国試出題基準
11月02日	1時限	各論-Ⅱ-1 Ⅰ-エ 各論-Ⅱ-8-ウ 各論-Ⅱ-8-エ

担当者 五関 たけみ

テーマ： 顎変形症に対する矯正治療(2)

授業の一般目標： 顎変形症患者の矯正治療を適切に行うために必要な診断、治療方針及び治療計画の立案について理解する。

到達目標SBOs：

- 1) 外科的矯正治療の流れを説明できる。
- 2) 顎矯正手術法の種類と適応を述べることができる。
- 3) 術後矯正治療について説明できる。
- 4) 治療前後の変化を説明できる。

講義日	時限	国試出題基準
11月05日	1時限	各論-II-8-エ 各論-II-5-ウ 総論-VIII-1-ア 総論-VIII-3-ア

担当者	岡本 康裕、多田 充裕、三田村 佐智代、梅澤 幸司、伊藤 梓、猪俣 英理、齋藤 勝彦、 五関 たけみ、岡本 京、清水 邦彦、伊藤 龍朗、根本 晴子
-----	--

テーマ： 平常試験1の解説

授業の一般目標： 平常試験1の正答率の低い問題に対して解説を行う。

到達目標SBOs：

1) 平常試験1で理解できなかった問題の再学習を行う。

=====

講義日	時限	国試出題基準
11月08日	1時限	総論-IX-1-ア

担当者	寺中 文子
-----	-------

テーマ： 硬組織欠損の検査法と治療方針

授業の一般目標： 歯の硬組織欠損の原因を診断し、適切な処置が行えるようになるために、硬組織検査と治療方針の立案について理解する。

到達目標SBOs：

- 1) 歯の硬組織欠損の診断に必要な検査法を選択できる。
- 2) 検査法の特徴とその実施方法について説明できる。
- 3) 歯に痛みのある患者が来院した際、正しい検査法を選択できる。
- 4) 硬組織欠損に対する検査結果を元に、正しい治療方針を選択できる。

講義日	時限	国試出題基準
11月09日	1時限	各論-Ⅲ-3-オ

担当者 岡田 珠美

テーマ： 齲蝕除去の臨床術式・器具および歯髄保護

授業の一般目標： 歯髄保護のための齲蝕の除去方法と歯髄保護について理解する。

到達目標SBOs：

- 1) 1) 齲蝕除去に必要な器具について説明できる。
- 2) 2) 齲蝕除去の臨床的手順について説明できる。
- 3) 3) 各種歯髄保護法について説明できる。
- 4) 4) 各種歯髄保護法の臨床手順が説明できる。
- 5) 5) 各種歯髄保護法に用いる薬剤について説明できる。

=====

講義日	時限	国試出題基準
11月10日	1時限	各論-Ⅲ-3-イ

担当者 神谷 直孝

テーマ： コンポジットレジン修復の術式・器具・器材

授業の一般目標： 適切なコンポジットレジン修復が行えるようになるために、診療の基本となる術式と使用器材の正しい取扱いについて修得する。

到達目標SBOs：

- 1) コンポジットレジン修復の基本的術式について説明できる。
- 2) コンポジットレジン修復に用いる器材について説明できる。
- 3) 処置部位と窩洞形態に適した修復法を選択できる。
- 4) 齲蝕以外の歯の硬組織疾患に対するコンポジットレジン修復について説明できる。

講義日	時限	国試出題基準
11月12日	1時限	各論-Ⅲ-3-ウ

担当者 岩井 啓寿

テーマ： 間接修復（セラミック・コンポジットレジンインレー）の特徴、術式

授業の一般目標： セラミック・コンポジットレジンインレー修復を適切に行えるために、窩洞の特徴、適応症、術式について理解する。

到達目標SBOs：

- 1) コンポジットレジンインレーの窩洞の特徴、適応症、術式について説明できる。
- 2) セラミックインレーの窩洞の特徴、適応症、術式について説明できる。
- 3) レジンコーティング法について説明できる。

=====

講義日	時限	国試出題基準
11月14日	1時限	各論-Ⅲ-3-カ

担当者 岩井 啓寿

テーマ： 接着操作・術後管理・補修修復

授業の一般目標： 修復物に応じた正しい接着操作、術後管理、補修修復の術式・特徴について理解する。

到達目標SBOs：

- 1) 修復物に応じた正しい接着操作について説明できる。
- 2) 修復処置後の術後管理について説明できる。
- 3) 補修修復の適応症について説明できる。
- 4) 補修修復の術式、手順について説明できる。

講義日	時限	国試出題基準
11月15日	1時限	総論-VI-1 1-イ 各論-III-6-ウ 各論-III-6-エ 各論-III-6-カ 各論-III-6-ソ

担当者 松島 潔

テーマ： 歯内療法の原則

授業の一般目標： 歯髄・根尖性歯周組織疾患の適切な診療を理解するために、歯内療法の原則を習得する。

到達目標 S B O s：

- 1) 歯内療法における無菌的処置について説明できる。
- 2) 感染歯質の除去と隔壁について説明できる。
- 3) 機械的拡大の限界と根管洗浄の意義について説明できる。
- 4) コロナルリーケージについて説明できる。
- 5) 根管充填後の補綴治療が予後に及ぼす影響について説明できる。

=====

講義日	時限	国試出題基準
11月16日	1時限	各論-III-6-エ

担当者 神尾 直人

テーマ： 歯髄・根尖周囲組織疾患の治療①

授業の一般目標： 歯髄・根尖歯周組織疾患の適切な診療ができるようになるために、診断と処置方針の決定、基本的処置を習得する。

到達目標 S B O s：

- 1) 歯髄・根尖歯周組織疾患の診断ができる。
- 2) 歯髄・根尖歯周組織疾患の処置方針の決定ができる。
- 3) 歯髄・根尖歯周組織疾患の基本的処置を習得する。

講義日	時限	国試出題基準
11月17日	1時限	各論-Ⅲ-6-オ

担当者 神尾 直人

テーマ： 歯髄・根尖周囲組織疾患の治療②

授業の一般目標： 歯髄・根尖歯周組織疾患の適切な診療ができるようになるために、根管形成、根管充填、治癒形態について習得する。

到達目標SBOs：

- 1) 根管形成について説明できる。
- 2) 根管充填について説明できる。
- 3) 根管充填後の治癒形態について説明できる。

=====

講義日	時限	国試出題基準
11月18日	1時限	各論-Ⅲ-5-オ 各論-Ⅲ-6-キ 各論-Ⅲ-6-コ

担当者 川島 正

テーマ： 歯髄・根尖歯周組織疾患の治療（根未完成歯、外傷歯）

授業の一般目標： 歯髄・根尖歯周組織疾患の適切な治療をするために、根未完成歯、外傷歯を修得する。

到達目標SBOs：

- 1) 1) 根未完成歯の歯内療法について説明できる。
- 2) 2) 歯の外傷の病態について説明できる。
- 3) 3) 破折した歯の治療について説明できる。

講義日	時限	国試出題基準
11月19日	1時限	各論-Ⅲ-6-オ

担当者 岡部 達

テーマ： 歯髄・根尖歯周疾患の治療（顕微鏡・N i T i ファイル・超音波・MTA）

授業の一般目標： 歯髄・根尖歯周疾患の適切な診療ができるようになるために、歯内療法の術式、器具を修得する。

到達目標SBOs：

- 1) 顕微鏡を用いた歯内療法を説明できる。
- 2) N i T i ファイルを用いた歯内療法を説明できる。
- 3) MTAを用いた歯内療法を説明できる。
- 4) 超音波を用いた歯内療法を説明できる。

=====

講義日	時限	国試出題基準
11月21日	1時限	各論-Ⅲ-9-コ 各論-Ⅲ-8-コ

担当者 中山 洋平

テーマ： 歯周病と全身疾患

授業の一般目標： 歯周疾患と全身疾患との関連について理解する。

到達目標SBOs：

- 1) 慢性歯周炎と糖尿病との関係について説明できる。
- 2) 慢性歯周炎と心血管系疾患との関係について説明できる。
- 3) 慢性歯周炎と呼吸器感染症との関係について説明できる。
- 4) 慢性歯周炎と骨粗鬆症との関係について説明できる。
- 5) 慢性歯周炎とメタボリックシンドロームとの関係について説明できる。
- 6) 慢性歯周炎と早産・低体重児出産との関係について説明できる。

講義日	時限	国試出題基準
11月22日	1時限	総論-IX-1-エ 必修-10-ク-c

担当者 吉野 祥一

テーマ： 歯周病の診査・診断

授業の一般目標： 歯周病の診査・診断および治療計画について理解できる。

到達目標SBOs：

- 1) 歯周組織検査の項目について列挙できる。
- 2) 歯周疾患の分類について説明できる。
- 3) 歯周治療の進め方について説明できる。

=====

講義日	時限	国試出題基準
11月24日	1時限	各論-III-9-イ

担当者 目澤 優

テーマ： 歯周基本治療・咬合治療

授業の一般目標： 歯周基本治療について理解する。

到達目標SBOs：

- 1) 歯周基本治療の項目を列挙できる。
- 2) 歯周基本治療の内容について説明できる。
- 3) 口腔清掃指導について説明できる。
- 4) スケーリングについて説明できる。
- 5) ルートプレーニングについて説明できる。
- 6) 咬合性外傷について説明できる。

講義日	時限	国試出題基準
11月25日	1時限	各論-Ⅲ-9-エ

担当者 高井 英樹

テーマ： 歯周外科治療・メンテナンス・SPT

授業の一般目標： 歯周外科治療の適応症と術式を習得し、その後のメンテナンスおよびSPTについて理解する。

到達目標SBOs：

- 1) 新付着術について説明できる。
- 2) 歯肉切除術について説明できる。
- 3) 歯肉剥離搔爬術について説明できる。
- 4) 歯周組織再生療法について説明できる。
- 5) 歯周形成外科手術について説明できる。
- 6) メンテナンスおよびSPTについて説明できる。

=====

講義日	時限	国試出題基準
11月26日	1時限	各論-Ⅲ-9-オ 各論-Ⅲ-9-エ

担当者 小方 頼昌

テーマ： 最新の歯周治療

授業の一般目標： 最新の歯周治療に関する知識を習得する

到達目標SBOs：

- 1) 臨床応用されている歯周組織再生療法について説明できる
- 2) 細胞成長因子を使用した歯周組織再生療法について説明できる
- 3) 幹細胞を使用した歯周組織再生療法について説明できる

講義日	時限	国試出題基準
11月29日	1時限	総論-X-2-サ

担当者	岩井 啓寿、神谷 直孝、岡田 珠美、松島 潔、神尾 直人、川島 正、岡部 達、中山 洋平、吉野 祥一、目澤 優、高井 英樹、小方 頼昌、寺中 文子
-----	---

テーマ： 平常試験2 解説講義

授業の一般目標： 平常試験2で正解の低い問題に対しての解説を行う。

到達目標SBOs：

1) 平常試験2で正答率の低い問題に対して再度理解を深める。

=====

講義日	時限	国試出題基準
12月01日	1時限	必修-6-イ-d

担当者	浅野 隆
-----	------

テーマ： 顎機能に関わる解剖

授業の一般目標： 歯科臨床における診査、診断、治療を適切に行うために、下顎運動に関する解剖学的事項を理解する。

到達目標SBOs：

1) 下顎運動と咀嚼筋の関連を説明できる。
2) 下顎限界運動に関わる靱帯について説明できる。

講義日	時限	国試出題基準
12月02日	1時限	総論-IV-3-ア 総論-IV-3-イ

担当者 浅野 隆

テーマ： 顎機能に関わる生理

授業の一般目標： 補綴歯科臨床の診査、診断、治療を適切に行うために、顎機能に関わる生理的知識を理解する。

到達目標SBOs：

- 1) 顎機能に関わる基準点、基準線、基準面について説明できる。
- 2) 顎機能に関わる下顎位について説明できる。
- 3) 顎機能に関わる下顎運動について説明できる。
- 4) 顎機能に関わる咀嚼運動について説明できる。

=====

講義日	時限	国試出題基準
12月03日	1時限	各論-V-6-ア 総論-VII-2-オ 総論-VIII-5-ア

担当者 矢崎 貴啓

テーマ： 全部床義歯の国家試験問題解説 1

授業の一般目標： 歯科医師国家試験問題に基き全部床義歯を理解する。

到達目標SBOs：

- 1) 人体の正常構造と機能を説明することができる。
- 2) 全部床義歯装着者の咬合・咀嚼について説明することができる。
- 3) 全部床義歯装着者の主要症候、検査、治療について説明することができる。
- 4) 高齢者の歯科治療について説明することができる。
- 5) 全部床義歯の要件と構成を説明することができる。
- 6) 無歯顎患者の診査と診断について説明することができる。

講義日	時限	国試出題基準
12月05日	1時限	各論-V-6-ウ 各論-V-6-イ

担当者 中田 浩史

テーマ： 全部床義歯の国家試験問題解説 2

授業の一般目標： 歯科医師国家試験問題に基き全部床義歯を理解する。

到達目標 S B O s：

- 1) 全部床義歯の製作にあたり治療計画・前処置について理解することができる。
- 2) 全部床義歯の製作にあたり印象について理解することができる。
- 3) 全部床義歯の製作にあたり模型・咬合床について理解することができる。

=====

講義日	時限	国試出題基準
12月06日	1時限	各論-V-6-エ 各論-V-6-オ

担当者 木本 統

テーマ： 全部床義歯の国家試験問題解説 3

授業の一般目標： 歯科医師国家試験に基づき全部床義歯を理解する。

到達目標 S B O s：

- 1) 全部床義歯の咬合採得について説明することができる。
- 2) 全部床義歯製作に用いる咬合器について説明することができる。

講義日	時限	国試出題基準
12月07日	1時限	各論-V-6-エ 各論-V-6-オ

担当者 矢崎 貴啓

テーマ： 全部床義歯の国家試験問題解説 4

授業の一般目標： 歯科医師国家試験に基づき全部床義歯を理解する。

到達目標 S B O s：

- 1) 全部床義歯の咬合採得について説明することができる。
- 2) 全部床義歯製作に用いる咬合器について説明することができる。

=====

講義日	時限	国試出題基準
12月08日	1時限	各論-V-6-サ 各論-V-6-シ

担当者 木本 統

テーマ： 全部床義歯の国家試験問題解説 5

授業の一般目標： 歯科医師国家試験問題に基づき全部床義歯を理解する。

到達目標 S B O s：

- 1) 全部床義歯の装着を説明できる。
- 2) 全部床義歯の調整を説明できる。
- 3) 全部床義歯の術後管理を説明できる。
- 4) 全部床義歯の患者教育を説明できる。

講義日	時限	国試出題基準
12月09日	1時限	各論-V-5-エ 各論-V-5-オ 各論-V-5-ス 各論-V-9-ア

担当者 神谷 和伸

テーマ： 局部床義歯学の国家試験問題解説1

授業の一般目標： 局部床義歯学の国家試験の問題を理解し、解くことができる。

到達目標SBOs：

- 1) 局部床義歯の咬合採得に関する国家試験問題を理解する。
- 2) 局部床義歯の口腔内装着に関する国家試験問題を理解する。
- 3) 局部床義歯の特殊な義歯に関する国家試験問題を理解する。

=====

講義日	時限	国試出題基準
12月10日	1時限	各論-V-5-キ 各論-V-5-ア

担当者 大久保 昌和

テーマ： 局部床義歯学の国家試験問題解説2

授業の一般目標： 局部床義歯学の国家試験の問題を理解し、解くことができる。

到達目標SBOs：

- 1) 局部床義歯の診査・診断・前処置に関する国家試験問題を理解する。
- 2) 局部床義歯の診査・診断・前処置に関する国家試験問題を解くことができる。
- 3) 局部床義歯の設計に関する国家試験問題を理解する。
- 4) 局部床義歯の設計に関する国家試験問題を解くことができる。

講義日	時限	国試出題基準
12月12日	1時限	各論-V-10-ウ 各論-V-10-オ 各論-V-10-カ 各論-V-10-キ

担当者 伊藤 誠康

テーマ： 局部床義歯学の国家試験問題解説3

授業の一般目標： 局部床義歯学の国家試験の問題を理解し、解くことができる。

到達目標SBOs：

- 1) 局部床義歯の術後管理に関する国家試験問題を理解する。
- 2) 局部床義歯のリライン・リベースに関する国家試験問題を理解する。

=====

講義日	時限	国試出題基準
12月15日	1時限	各論-V-5-キ 各論-V-5-ア

担当者 大久保 昌和

テーマ： 局部床義歯学の国家試験問題解説4

授業の一般目標： 局部床義歯学の国家試験の問題を理解し、解くことができる。

到達目標SBOs：

- 1) 局部床義歯の構成要素に関する国家試験問題を理解する。
- 2) 局部床義歯の構成要素に関する国家試験問題を解くことができる。

講義日	時限	国試出題基準
12月16日	1時限	各論-V-5-イ 各論-V-5-ウ

担当者 石井 智浩

テーマ： 局部床義歯学の国家試験問題解説5

授業の一般目標： 局部床義歯学の国家試験の問題を理解し、解くことができる。

到達目標SBOs：

- 1) 局部床義歯の印象採得に関する国家試験問題を理解する。
- 2) 局部床義歯の模型に関する国家試験問題を理解する。

=====

講義日	時限	国試出題基準
12月17日	1時限	各論-V-3-ア 各論-V-3-イ 各論-V-3-エ 各論-V-3-キ 各論-V-3-ク 各論-V-4-ア

担当者 田中 孝明

テーマ： クラウンブリッジの要件、ブリッジの支台装置、ポンティック、連結部について

授業の一般目標： クラウンブリッジの診療を行うために、クラウンブリッジの要件を理解し、ブリッジの基本構成を説明できる。

到達目標SBOs：

- 1) クラウンブリッジの要件を列挙することができる。
- 2) クラウンブリッジの要件に該当する項目を説明できる。
- 3) ブリッジの基本構造を説明できる。
- 4) 支台装置の種類と特徴を説明できる。
- 5) ポンティックの種類と特徴および適応を説明できる。
- 6) ブリッジの種類を記述し、その特徴を説明できる。

講義日	時限	国試出題基準
12月19日	1時限	各論-V-4-ア 各論-V-4-イ

担当者 小林 平

テーマ： ブリッジの種類、診査診断、治療計画、前処置

授業の一般目標： 適切なクラウンブリッジの診療を行うために、クラウンブリッジの種類を理解し、診査診断情報から治療計画を立案し、必要な前処置について説明できる。

到達目標SBOs：

- 1) クラウンブリッジの診療において、各検査の意義と内容を説明できる。
- 2) 治療計画を左右する因子について説明することができる。
- 3) クラウンブリッジの治療計画を立案することができる。
- 4) クラウンブリッジの治療に必要な診査診断を説明することができる。

=====

講義日	時限	国試出題基準
12月20日	1時限	各論-V-4-ウ 各論-V-4-カ 各論-V-4-オ

担当者 田中 孝明

テーマ： 支台歯形成、印象採得、プロビジョナルレストレーション

授業の一般目標： クラウンブリッジの診療を行うために、支台歯形成、印象採得、プロビジョナルレストレーションを理解する。

到達目標SBOs：

- 1) 支台歯形態を図示できる。
- 2) 支台歯のフィニッシュラインが説明でき、それぞれの適応を述べることができる。
- 3) 切削器具の使用方法を述べることができる。
- 4) 印象材の種類と特徴を説明できる。
- 5) 印象方法について説明できる。
- 6) プロビジョナルレストレーションの目的を記述できる。
- 7) プロビジョナルレストレーションの製作方法を説明できる。

講義日	時限	国試出題基準
12月21日	1時限	各論-V-4-カ 各論-V-4-カ 各論-V-4-キ 各論-V-4-ク 各論-V-4-ケ 各論-V-4-コ 各論-V-4-サ

担当者 小林 平

テーマ： クラウンブリッジ治療における作業用模型、咬合採得、咬合器付着、蠟型形成、埋没

授業の一般目標： 適切なクラウンブリッジの診療を行うために、作業模型の意義、咬合採得、咬合器付着、蠟型形成、埋没にいたる診療と技工の術式を説明できる。

到達目標SBOs：

- 1) 作業模型の必要事項について説明できる。
- 2) 症例に応じた咬合採得の方法を説明できる。
- 3) 咬合採得に用いる材料について説明できる。
- 4) 咬合器付着の方法を説明できる。
- 5) 咬合器のプログラミングを説明できる。
- 6) 蠟型形成の方法について説明できる。
- 7) 蠟型形成に使用する材料の特徴を分類できる。
- 8) 埋没の方法について説明できる。

=====

講義日	時限	国試出題基準
12月22日	1時限	各論-V-4-シ 各論-V-4-シ 各論-V-4-ス 各論-V-4-セ 各論-V-4-ソ

担当者 小林 平

テーマ： 鑄造、ろう付け、研磨、試適、術後管理

授業の一般目標： 適切なクラウンブリッジの治療を行うために鑄造、ろう付け、研磨、試適、術後管理について説明できる。

到達目標SBOs：

- 1) クラウンブリッジの鑄造について説明できる。
- 2) クラウンブリッジの研磨について使用機材と特徴について説明できる。
- 3) クラウンブリッジの試適について意義と調整方法を説明できる。
- 4) クラウンブリッジの術後管理について意義と方法必要性について述べることができる。

講義日	時限	国試出題基準
12月24日	1時限	各論-V-2-イ

担当者 村上 洋

テーマ： インプラント治療の検査とリスクファクター

授業の一般目標： 欠損補綴の回復方法を適切に患者に提供するために、インプラント治療に関する基本的知識を修得する。

到達目標SBOs：

- 1)インプラント治療のリスクファクターを説明できる。
- 2)インプラント治療の局所的検査について説明できる。

=====

講義日	時限	国試出題基準
12月26日	1時限	各論-V-8-ケ

担当者 北川 剛至

テーマ： インプラントの上部構造・補綴治療

授業の一般目標： 欠損補綴を適切に患者に提供するために、インプラント治療に関する基本的知識を修得する。

到達目標SBOs：

- 1)インプラント補綴の術式を説明できる。
- 2)インプラント上部構造の種類を説明できる。
- 3)インプラント治療の特徴、他の補綴治療との比較を説明できる。

講義日	時限	国試出題基準
12月27日	1時限	各論-V-8-ウ

担当者 村上 洋

テーマ： インプラント治療の診断と治療計画

授業の一般目標： 欠損補綴の回復方法を適切に患者に提供するために、インプラント治療に関する基本的知識を修得する。

到達目標SBOs：

1)インプラント治療における治療計画で考慮すべき事項を説明できる。

=====

講義日	時限	国試出題基準
01月07日	1時限	各論-V-2-エ

担当者 小林 平、木本 統、浅野 隆、矢崎 貴啓、飯島 守雄、中田 浩史、神谷 和伸、伊藤 誠康、大久保 昌和、石井 智浩、田中 孝明、村上 洋、北川 剛至

テーマ： 平常試験3の解説

授業の一般目標： 平常試験3で正解の低い問題に対しての解説を行う。

到達目標SBOs：

1)平常試験3で理解できなかった問題の再学習を行う。

講義日	時限	国試出題基準
01月11日	1時限	各論-IV-8-イ

担当者 伊東 浩太郎

テーマ： 歯・歯槽骨・顎骨・顔面骨の損傷の画像診断

授業の一般目標： 歯・歯槽骨・顎骨・顔面骨の損傷の画像診断を適切に行うために、画像検査法の基本的知識を修得する。

到達目標SBOs：

1) 顎・口腔領域の損傷の特徴的な画像所見を説明できる。

=====

講義日	時限	国試出題基準
01月12日	1時限	各論-IV-9-オ

担当者 伊東 浩太郎

テーマ： 歯槽骨・顎骨の炎症の画像診断

授業の一般目標： 歯槽骨・顎骨の炎症の画像診断を適切に行うために、画像検査法の基本的知識を修得する。

到達目標SBOs：

1) 顎・口腔領域の炎症性疾患の特徴的な画像所見を説明できる。

講義日	時限	国試出題基準
01月13日	1時限	各論-IV-4-エ

担当者 伊東 浩太郎

テーマ： 軟組織に発生する嚢胞・腫瘍および腫瘍類似疾患の画像診断

授業の一般目標： 軟組織に発生する嚢胞・腫瘍および腫瘍類似疾患の画像検査を適切に行うために、画像検査法の基本的知識を修得する。

到達目標SBOs：

- 1) 軟組織に発生する嚢胞・腫瘍および腫瘍類似疾患の適切な画像検査法を選択することができる。
- 2) 軟組織に発生する嚢胞・腫瘍および腫瘍類似疾患の特徴像を説明することができる。
- 3) 軟組織に発生する嚢胞・腫瘍および腫瘍類似疾患の鑑別診断をすることができる。

=====

講義日	時限	国試出題基準
01月14日	1時限	各論-IV-11-ア

担当者 伊東 浩太郎

テーマ： 顎骨に発生する嚢胞性疾患・腫瘍および腫瘍類似疾患の画像診断

授業の一般目標： 顎骨に発生する嚢胞性疾患・腫瘍および腫瘍類似疾患の画像診断を適切に行うために、画像検査法の基本的知識を修得する。

到達目標SBOs：

- 1) 顎骨に発生する嚢胞性疾患・腫瘍および腫瘍類似疾患の適切な画像検査法を選択できる。
- 2) 顎骨に発生する嚢胞性疾患・腫瘍および腫瘍類似疾患の特徴像を説明できる。
- 3) 画像による顎骨に発生する嚢胞性疾患・腫瘍および腫瘍類似疾患の鑑別診断をすることができる。

講義日	時限	国試出題基準
01月16日	1時限	総論-IX-3-イ

担当者 browse 真奈

テーマ： 感染症

授業の一般目標： 有病者の歯科治療を安全に行うために、感染症の診断に必要な検査項目、疾患の原因および症状について理解する。

到達目標SBOs：

- 1) 感染症の定義について述べることができる。
- 2) 感染症を調べるための検査項目を述べることができる。
- 3) 感染症の原因と臨床症状を述べることができる。
- 4) 感染症に罹患している患者への歯科治療を行う際の注意点を述べることができる。

=====

講義日	時限	国試出題基準
01月17日	1時限	必修-11-ウ-b

担当者 小峯 千明

テーマ： 出血性素因

授業の一般目標： 出血性素因について理解する。

到達目標SBOs：

- 1) 出血性素因の定義を述べられる。
- 2) 出血性素因の原因を述べられる。
- 3) 止血の仕組みを述べられる。
- 4) 出血性素因を調べるための検査項目を述べられる。
- 5) 出血性素因を有する患者の歯科治療を行う際の注意点を述べられる。

講義日	時限	国試出題基準
01月18日	1時限	各論-IV-16-カ-a

担当者 深津 晶

テーマ： 貧血

授業の一般目標： 貧血について理解する。

到達目標SBOs：

- 1) 貧血の定義が述べられる。
- 2) 貧血を調べるための検査項目およびその意義が述べられる。
- 3) 貧血に伴う特等的な症状が述べられる。

=====

講義日	時限	国試出題基準
01月19日	1時限	各論-II-4-ウ

担当者 濱野 美緒

テーマ： 抜歯について

授業の一般目標： 顎口腔領域の疾患を診断し治療計画を立てられるようになるために、疾患の特徴や治療法を学習する。

到達目標SBOs：

- 1) 単純・複雑・埋伏歯の抜歯の術式を説明できる。
- 2) 抜歯の禁忌症を説明できる。
- 3) 抜歯の偶発症を説明できる。

講義日	時限	国試出題基準
01月21日	1時限	各論-IV-17-イ 各論-IV-17-キ

担当者 河島 睦

テーマ： 全身疾患を有する患者に対する外科処置について

授業の一般目標： 顎口腔領域の疾患を診断し治療計画が立てられるようになるために、疾患の特徴や治療法を学習する。

到達目標SBOs：

- 1) 口腔外科治療に影響する疾患の種類を列挙できる。
- 2) 口腔外科治療に影響する疾患の特徴・症状を説明できる。
- 3) 口腔外科治療時の患者管理を説明できる。

=====

講義日	時限	国試出題基準
01月23日	1時限	各論-IV-6-チ 各論-IV-6-テ

担当者 青木 暁宣

テーマ： 顎口腔領域の粘膜疾患について

授業の一般目標： 顎口腔領域の疾患を診断し治療計画が立てられるようになるために、疾患の特徴や治療法を学習する。

到達目標SBOs：

- 1) 口腔粘膜疾患の種類を列挙出来る
- 2) 粘膜疾患の特徴を述べる事が出来る
- 3) 粘膜疾患の治療法を説明できる

講義日	時限	国試出題基準
01月24日	1時限	各論-IV-9-オ 各論-IV-3-イ

担当者 西村 均

テーマ： 炎症性疾患について

授業の一般目標： 顎口腔領域の疾患を診断し治療計画が立てられるようになるために、疾患の特徴や治療法を理解する。

到達目標SBOs：

- 1) 顎骨の炎症について説明できる。
- 2) 軟組織の炎症について説明できる。
- 3) 炎症の波及について説明できる。
- 4) 膿瘍について説明できる。
- 5) 蜂窩織炎について説明できる。

=====

講義日	時限	国試出題基準
01月25日	1時限	各論-IV-16-ア

担当者 山本 泰

テーマ： 口腔に関連するウイルス疾患について

授業の一般目標： 顎口腔領域の疾患を診断し治療計画が立てられるようになるために、疾患の特徴や治療法を学習する。

到達目標SBOs：

- 1) 口腔に関連するウイルスの種類を列記できる。
- 2) 口腔に関連するウイルスの特徴を説明できる。
- 3) ウイルス疾患の治療法と対処法を説明できる。
- 4) 単純疱疹について説明できる。
- 5) 帯状疱疹について説明できる。
- 6) ヘルパンギーナについて説明できる。
- 7) 手足口病について説明できる。

講義日	時限	国試出題基準
01月26日	1時限	各論-IV-9-ク

担当者 濱野 美緒

テーマ： ビスホスホネート製剤と歯科治療について

授業の一般目標： 顎口腔領域の疾患を診断し治療計画が立てられるようになるために、疾患の特徴や治療法を学習する。

到達目標SBOs：

- 1) ビスホスホネートの適応症を説明できる。
- 2) ビスホスホネートの作用機序を説明できる。
- 3) 歯科治療とビスホスホネートの関連を説明できる。
- 4) ビスホスホネート服用患者の外科処置について説明できる。

=====

講義日	時限	国試出題基準
01月27日	1時限	各論-IV-8-カ 各論-IV-8-ウ

担当者 青木 暁宣

テーマ： 上顎骨骨折について

授業の一般目標： 顎口腔領域の疾患を診断し治療計画が立てられるようになるために、疾患の特徴や治療法を学習する。

到達目標SBOs：

- 1) 顎骨骨折について説明できる。
- 2) 上顎骨骨折の特徴を説明できる。
- 3) 上顎骨骨折の好発部位を説明できる。
- 4) 上顎骨骨折の治療法を説明できる。

講義日	時限	国試出題基準
01月28日	1時限	各論-IV-8-エ 各論-IV-8-サ

担当者 青木 暁宣

テーマ： 下顎骨骨折について

授業の一般目標： 顎口腔領域の疾患を診断し治療計画が立てられるようになるために、疾患の特徴や治療法を学習する。

到達目標SBOs：

- 1) 顎骨骨折について説明できる。
- 2) 下顎骨骨折の特徴を説明できる。
- 3) 下顎骨骨折の好発部位を説明できる。
- 4) 下顎骨骨折の治療法を説明できる。
- 5) 下顎骨骨折の固定法を説明できる。

=====

講義日	時限	国試出題基準
01月30日	1時限	各論-V-8-オ

担当者 玉木 大之

テーマ： 口腔インプラント埋入手術について

授業の一般目標： 欠損補綴の回復方法を適切に患者に供給するために、インプラント治療に関する基本的知識を修得する。

到達目標SBOs：

- 1) インプラント外科処置について説明できる。

講義日	時限	国試出題基準
01月31日	1時限	必修-10-オ-c

担当者 石橋 肇

テーマ： バイタルサインについて

授業の一般目標： 歯科治療を安全に行うために、バイタルサインおよび基本的なモニタリング項目を理解する。

到達目標SBOs：

- 1) バイタルサインの定義と種類と述べることができる。
- 2) 血圧について説明できる。
- 3) 脈拍について説明できる。
- 4) 呼吸について説明できる。
- 5) 体温について説明できる。
- 6) モニタリングについて説明できる。

=====

講義日	時限	国試出題基準
02月01日	1時限	必修-15-ホ-b

担当者 卯田 昭夫

テーマ： 高血圧症・虚血性心疾患患者について

授業の一般目標： 高血圧症、虚血性心疾患患者の歯科治療上注意点について理解する。

到達目標SBOs：

- 1) 高血圧症について説明することができる。
- 2) 高血圧症患者の歯科治療上注意点について説明することができる。
- 3) 局所麻酔時に留意すべき降圧薬について説明することができる。
- 4) 虚血性心疾患について説明することができる。
- 5) 虚血性心疾患患者の歯科治療上注意点について説明することができる。
- 6) 異常高血圧時の対応について説明することができる。
- 7) 胸痛発症時の対応について説明することができる。

講義日	時限	国試出題基準
02月02日	1時限	必修-1 5-ホ-b

担当者 鈴木 正敏

テーマ： 気管支喘息・ステロイド内服患者について

授業の一般目標： 気管支喘息患者、ステロイド内服患者について理解する。

到達目標SBOs：

- 1) 気管支喘息の病態について説明できる。
- 2) 気管支喘息患者の歯科治療上の注意点について説明できる。
- 3) 気管支喘息発症時の対応について説明できる。
- 4) ステロイド薬の薬理学特徴について説明できる。
- 5) ステロイド薬内服患者の歯科治療上の注意点について説明できる。
- 6) ステロイドカバーについて説明できる。

=====

講義日	時限	国試出題基準
02月03日	1時限	必修-1 3-イ-a 総論-X-3-イ 総論-X-3-ウ 総論-X-3-エ 総論-X-3-オ 総論-X-3-カ

担当者 石橋 肇

テーマ： 一次および二次救命処置について

授業の一般目標： 歯科治療中に発生する可能性のある心肺停止に対応できるようになるために、一次および二次救命処置について理解する。

到達目標SBOs：

- 1) 一次救命処置（BLS）について説明できる。
- 2) 二次救命処置（ALS）について説明できる。
- 3) 除細動について説明できる。
- 4) 除細動の適応不整脈について説明できる。
- 5) ALS時の薬物投与経路について説明できる。
- 6) ALSに使用する薬物について説明できる。
- 7) 高度な気道確保について説明できる。

講義日	時限	国試出題基準
02月06日	1時限	必修-1 5-ホ-b 必修-1 3-イ-b 総論-VIII-6-ア 総論-IX-4-キ

担当者 鈴木 正敏

テーマ： 糖尿病について

授業の一般目標： 糖尿病患者の歯科治療上注意点について理解する。

到達目標SBOs：

- 1) 糖尿病の病態について説明することができる。
- 2) 糖尿病の検査項目について説明することができる。
- 3) 糖尿病患者の外科処置時の注意点について説明することができる。
- 4) 糖尿病患者の局所麻酔時の注意点について説明することができる。
- 5) 低血糖時の病態について説明することができる。
- 6) 低血糖発症時の対応について説明することができる。
- 7) 高血糖時の病態について説明することができる。

=====

講義日	時限	国試出題基準
02月07日	1時限	各論-IV-1 7-イ 必修-1 5-ホ-b

担当者 卯田 昭夫

テーマ： 心臓弁膜疾患について

授業の一般目標： 心臓弁膜疾患患者の歯科治療上注意点について理解する。

到達目標SBOs：

- 1) 心臓弁膜疾患の病態について説明することができる。
- 2) 心臓弁膜疾患患者の局所麻酔時注意点について説明することができる。
- 3) 心臓弁膜疾患患者の外科処置時の注意点について説明することができる。
- 4) 感染性心内膜炎の病態について説明することができる。
- 5) 感染性心内膜炎予防処置について説明することができる。

講義日 時限 国試出題基準
02月09日 1時限

担当者 濱野 美緒、伊東 浩太郎、湊上 真奈、小峯 千明、深津 晶、青木 暁宣、西村 均、山
 本 泰、河島 睦、玉木 大之、石橋 肇、卯田 昭夫、鈴木 正敏

テーマ： 平常試験 4 解説講義

授業の一般目標： 平常試験 4 で正解の低い問題に対しての解説を行う。

到達目標 S B O s：

1) 平常試験 4 で理解できなかった問題の再学習を行う。

=====

講義日 時限 国試出題基準
02月13日 1時限 総論- I - 6 - ア 必修- 2 - ウ - f

担当者 有川 量崇

テーマ： 社会保障制度

授業の一般目標： 歯科医師として必要な我が国の社会保障制度を学び、医療人として社会における役割と責任について理解し、修得することができる。

到達目標 S B O s：

- 1) 我が国の社会保障制度について説明できる。
- 2) 社会保険について説明できる。
- 3) 公的扶助について説明できる。
- 4) 社会福祉について説明できる。

講義日	時限	国試出題基準
02月14日	1時限	総論-I-6-イ 必修-2-イ-b

担当者 有川 量崇

テーマ： 医療保険制度・国民医療費

授業の一般目標： 歯科医師として必要な医療保険制度を学び、医療人として社会における役割と責任について理解し、修得することができる。

到達目標SBOs：

1) 我が国の医療保険制度と国民医療費について説明できる。

=====

講義日	時限	国試出題基準
02月15日	1時限	各論-I-1-ア 各論-I-1-イ 各論-I-1-ウ 各論-I-1-エ 各論-I-1-オ 各論-I-1-カ

担当者 田口 千恵子

テーマ： 齲蝕の予防・管理

授業の一般目標： 適切な歯科疾患の予防・管理を行うために齲蝕の病因、ライフステージと齲蝕、予防手段について理解する。

到達目標SBOs：

- 1) 齲蝕の病因について説明できる。
- 2) 齲蝕活動性試験・評価について説明できる。
- 3) ライフステージにおける齲蝕について説明できる。
- 4) 齲蝕の予防手段について説明できる。

講義日	時限	国試出題基準
02月16日	1時限	各論-I-1-キ 必修-3-キ-a 必修-3-キ-b 必修-3-キ-c

担当者 田口 千恵子

テーマ： フッ化物応用

授業の一般目標： 適切な歯科疾患の予防・管理を行うためにフッ化物の応用について理解する。

到達目標SBOs：

- 1) フッ化物の応用法について説明できる。
- 2) フッ化物の全身的応用について説明できる。
- 3) フッ化物の局所応用について説明できる。
- 4) フッ化物の代謝について説明できる。
- 5) フッ化物の安全性について説明できる。

=====

講義日	時限	国試出題基準
02月17日	1時限	各論-I-2-ア 各論-I-2-イ 各論-I-2-ウ 各論-I-2-エ 各論-I-2-オ 各論-I-2-カ

担当者 田口 千恵子

テーマ： 歯周疾患の予防管理

授業の一般目標： 適切な歯科疾患の予防・管理のために歯周疾患や口臭の病因、予防手段について理解する。

到達目標SBOs：

- 1) 歯周疾患の病因について説明できる。
- 2) 歯周疾患のリスクファクター・診断について説明できる。
- 3) 歯周疾患の予防方法について説明できる。

講義日	時限	国試出題基準
02月18日	1時限	総論-I-2-ウ 必修-2-ウ-f

担当者 有川 量崇

テーマ： 高齢者施策・介護保険制度

授業の一般目標： 歯科医師として必要な高齢者施策・介護保険制度を学び，医療人として社会における役割と責任について理解し，修得することができる。

到達目標SBOs：

- 1) 介護保険制度について説明できる。
- 2) 高齢者施策について説明できる。

=====

講義日	時限	国試出題基準
02月20日	1時限	必修-3-イ-a 総論-II-2-オ 総論-II-3-イ 総論-II-3-オ 総論-II-4-イ 総論-II-4-カ 総論-II-5-ウ 総論-II-6-エ

担当者 後藤田 宏也

テーマ： 地域歯科保健

授業の一般目標： 適切な健康管理を行うために，地域歯科保健について理解する。

到達目標SBOs：

- 1) 地域歯科保健について説明できる。
- 2) 母子歯科保健について説明できる。
- 3) 学校歯科保健について説明できる。
- 4) 産業歯科保健について説明できる。
- 5) 老人歯科保健について説明できる。
- 6) 障害者・障害児歯科保健について説明できる。

講義日	時限	国試出題基準
02月21日	1時限	総論-Ⅱ-1 0-ク 総論-Ⅱ-1 0-ア 総論-Ⅱ-1 0-イ 総論-Ⅱ-1 0-ケ 総論-Ⅱ-1 0-コ 総論-Ⅱ-1 0-サ

担当者 後藤田 宏也

テーマ： 歯科疾患の統計指標

授業の一般目標： 歯科疾患の予防・管理を行うために、歯科領域における統計指標（齲蝕，歯周疾患，歯口清掃状態）について理解する。

到達目標SBOs：

- 1) 疫学の定義と目的について述べることができる。
- 2) 齲蝕の統計指標について説明することができる。
- 3) 歯周疾患の統計指標について説明することができる。
- 4) 口腔清掃状態の統計指標について説明することができる。
- 5) 歯のフッ素症の指標について説明することができる。

=====

講義日	時限	国試出題基準
02月22日	1時限	必修-2-ウ-a 必修-2-ウ-e 必修-2-ウ-f 必修-2-ウ-g

担当者 有川 量崇

テーマ： 歯科医師法・医療法・医療職種役割

授業の一般目標： 歯科医師として必要な法・医療職種役割を学び，医療人として社会における役割と責任について理解し，修得することができる。

到達目標SBOs：

- 1) 歯科医師法について説明できる。
- 2) 医療法について説明できる。
- 3) 医療職種役割について説明できる。

講義日	時限	国試出題基準
02月25日	1時限	総論-I-2-ア

担当者 有川 量崇

テーマ： 平常試験5解説講義

授業の一般目標： 平常試験5で正解の低い問題に対しての解説を行う。

到達目標SBOs：

1) 平常試験5で正解の低い問題に対しての解説を行う。

=====

講義日	時限	国試出題基準
03月17日	1時限	必修-6-ア-d

担当者 平塚 浩一

テーマ： 生化学

授業の一般目標： ヒトの身体を作る基本物質とその代謝を理解する。

到達目標SBOs：

1) 生体を構成する基本成分が理解できる。
2) 五大栄養素とエネルギー代謝が理解できる。

講義日	時限	国試出題基準
03月18日	1時限	総論-X-9-オ 総論-X-9-ウ 総論-X-9-ケ

担当者 松本 裕子

テーマ： 薬理学

授業の一般目標： 薬物療法を理解するために、薬理学の基本的事項に関する知識を修得する。

到達目標SBOs：

- 1) 薬物の作用機序について説明できる。
- 2) 薬物の体内動態について説明できる。
- 3) 薬物の副作用について説明できる。
- 4) 薬物の相互作用について説明できる。

=====

講義日	時限	国試出題基準
03月21日	1時限	総論-IV-1-エ 総論-IV-1-ア 総論-IV-1-イ 総論-IV-1-ウ 総論-IV-1-オ

担当者 松野 昌展

テーマ： 解剖学

授業の一般目標： 臨床実習で遭遇する症例の問題解決と円滑な臨床実習を行うために、歯科医学の科学的根拠に基づいた解剖学的知識を修得し、国家試験問題の解決方法を理解する。

到達目標SBOs：

- 1) 頭頸部の構造を局所解剖的な視点で説明できる。

講義日	時限	国試出題基準
03月22日	1時限	総論-I-6-イ

担当者 有川 量崇

テーマ： 衛生学

授業の一般目標： 歯科医師として必要な法・制度を学び、医療人として社会における役割と責任について理解し、修得する。

到達目標SBOs：

- 1) 保健・医療制度について説明できる。
- 2) 医療保険制度について説明できる。

=====

講義日	時限	国試出題基準
03月23日	1時限	必修-6-ア-f

担当者 落合 智子

テーマ： 免疫学

授業の一般目標： 感染防御における免疫のしくみを理解するために、免疫機構の基本的知識を習得する。

到達目標SBOs：

- 1) 免疫系の基本的な構成要素について説明できる。
- 2) 免疫担当細胞の種類を説明できる。
- 3) 免疫機構の全体の流れを説明できる。

講義日	時限	国試出題基準
03月24日	1時限	総論-Ⅲ-2-エ

担当者 加藤 治

テーマ： 生理学

授業の一般目標： 浸透圧と膠質浸透圧の違いを理解し，水の動きと浮腫について学ぶ。

到達目標SBOs：

- 1) 浸透圧を規定する分子を説明できる。
- 2) 膠質浸透圧を説明できる。
- 3) 浮腫の形成について説明できる。

=====

講義日	時限	国試出題基準
03月25日	1時限	総論-VI-1-イ 総論-VI-1-ア 必修-14-ア-c 必修-14-ア-d 必修-14-ア-f 必修-14-ア-g 必修-14-ア-h 必修-14-ア-i

担当者 宇都宮 忠彦

テーマ： 病理学

授業の一般目標： 病因・病態を理解するために，病因論と病変とのかかわりについて学習する。

到達目標SBOs：

- 1) 病因を列举することができる。
- 2) 6大病変の特徴と代表的疾患について説明できる。
- 3) 主要な口腔疾患の病理学的特徴について解説できる。

講義日	時限	国試出題基準
03月27日	1時限	必修-6-ア-c

担当者 玉村 亮

テーマ： 組織学

授業の一般目標： 人体を構成する細胞・組織の内部構造を理解するために、組織学の基本的事項に関する知識を習得する。

到達目標SBOs：

- 1) 細胞の構成要素を説明できる。
- 2) 上皮組織の種類と特徴を説明できる。
- 3) 支持組織の種類と特徴を説明できる。
- 4) 筋組織の種類と特徴を説明できる。
- 5) 神経組織を構成する細胞とその特徴を説明できる。

=====

講義日	時限	国試出題基準
03月28日	1時限	必修-3-ア-a

担当者 後藤田 宏也

テーマ： 衛生学

授業の一般目標： 歯科疾患の予防・管理を行うために、公衆衛生と口腔衛生について理解する。

到達目標SBOs：

- 1) 健康管理・増進と予防について説明できる。
- 2) 歯科疾患の予防・管理について説明できる。

講義日	時限	国試出題基準
03月29日	1時限	必修-15-マ-a

担当者 谷本 安浩

テーマ： 歯科生体材料学

授業の一般目標： 歯科材料を適切に使用するために、歯科理工学の基礎知識を習得する。

到達目標SBOs：

- 1) 有機材料の種類および性質を説明できる。
- 2) 無機材料の種類および性質を説明できる。
- 3) 複合材料の種類および性質を説明できる。
- 4) 金属材料の種類および性質を説明できる。

=====

